

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

事業名 ： 一般国道352号 <small>かやとうげ</small> 萱峠バイパス		事業区分 ： 一般国道	事業主体 ： 新潟県	
起終点 ： 自：新潟県長岡市御山町 至：新潟県北魚沼郡広神村滝ノ又		延長 ： 11.0km		
事業概要 ： 一般国道352号は、新潟県柏崎市を起点とし、栃木県河内郡上三川町に至る幹線道路である。萱峠バイパスは、交通不能、幅員狭小区間を解消し、日常生活圏の連携強化、雪や災害に強いネットワークの整備及び個性ある地域形成を図る。				
昭和55年度事業化	都市計画なし	昭和55年度用地着手	昭和55年度工事着手	
全体事業費	約146億円	事業進捗率	70%	
計画交通量	2,200 台/日	供用済延長	7.1km	
費用便益比	B / C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年 平成15年
	(残事業)	40/98 億円 (事業費：36/93 億円) 維持管理費：4/4 億円	124/124 億円 (走行時間短縮便益：109/109 億円) (走行費用減少便益：13/13 億円) (交通事故減少便益：3/3 億円)	
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する）				
他6項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見 「一般国道352号柏崎長岡間改良整備促進期成同盟会」が組織されており、長岡市・山古志村共に早期整備を強く要望している。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ： 特になし				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収を概ね終了し、7.1km部分供用している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 既にトンネル2本が貫通し、供用のために必要な最後のトンネルを掘削中であり、早期の供用を目指す。				
施設の構造や工法の変更等 プレキャスト製品や再生材の活用、建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めている。				
対応方針 ： 事業継続				
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

再評価の時点までに事業区間の一部に部分供用があり、事業全体の費用便益分析に変えて、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。